

建設業 ERP「imforce Arch®」工事の着地見込を高精度化する新版を提供開始 ～原価管理を事業横断で統合、全社損益の可視化・経営基盤強化を実現～

株式会社NTTデータビジネスシステムズ
株式会社NTTデータ・ビズインテグラル

株式会社NTTデータビジネスシステムズ(以下、NTTデータビジネスシステムズ)および株式会社NTTデータ・ビズインテグラル(以下、NTTデータ・ビズインテグラル)は、建設業向け次世代 ERP「imforce 建設業統合基幹モデル(imforce Arch®)」の原価管理機能を強化した新バージョンの提供を開始します。新バージョンでは、工種ベースと予算書ベース双方の原価管理に対応し、複数事業を展開する建設事業者における原価情報の統合化と標準化を支援します。また、NTTデータ・ビズインテグラルが提供する最新の統合業務パッケージ「Biz J®」の最新基盤に対応することで、最新の OS/ミドルウェアへの対応に加え、外部システムとのデータ連携性を高める基盤を整備し、将来の制度改正やシステム間連携にも柔軟に対応できる環境を実現しました。これらの強化により、予実管理や着地見込管理の精度向上、原価統制の高度化、購買・物件管理を含む業務プロセス全体の効率化を可能とし、建設業の経営管理基盤の強化と DX 推進に貢献します。今後もNTTデータビジネスシステムズとNTTデータ・ビズインテグラルは、両社の強みを生かした連携により、更なるユーザー利便性と生産性向上に向けた製品強化を加速していきます。

【背景】

建設業界では、案件ごとに多様な工種・協力会社に関わることから原価情報が部門・事業単位で分断されやすく、全社的な原価把握の遅れや予実乖離の早期検知が困難になるという課題が顕在化しています。また、実行予算や発注情報が Excel や個別管理に依存している企業も多く、データの不整合、属人化、情報更新の遅延が経営管理の精度を低下させる要因となっています。

こうした課題は、複数事業を展開する建設事業者ほど深刻であり、全社統合的な原価管理基盤の重要性が高まっています。さらに、原価情報をタイムリーかつ一貫性を持って把握し、予実管理や着地見込を高精度に算出することは、経営判断の迅速化や収益性改善に直結するテーマです。これらを背景として、原価管理プロセスの標準化とデータ統合を実現する仕組みが求められています。

【概要】

NTTデータビジネスシステムズおよびNTTデータ・ビズインテグラルは、建設業向け次世代 ERP「imforce 建設業統合基幹モデル(imforce Arch)」の原価管理機能を強化した新バージョンの提供を開始します。本強化は、(1)建設業における原価管理業務の複雑性とサイロ化、(2)Excel 主体の分散管理による予実精度の低下、(3)経営判断に必要な原価情報の遅延、(4)これらの課題を解決し経営管理基盤を強化する必要性を背景に実施したものです。

今回のバージョンでは、原価管理や購買管理、物件管理における業務プロセスを見直し、データの標準化・統合化、業務効率化、予実・着地見込の精度向上を実現するための機能強化を行いました。

■ 原価管理領域の機能強化

- 工種ベース・予算書ベース双方に対応し、事業横断で統一ルールでの原価管理を実現
- 実行予算の版管理を拡充し、実行予算の承認から発注・売上計上までを一貫管理することで予算管理の早期化と統制強化を実現
- 実行予算のインポート/エクスポートを強化し、外部システムとの連動性を向上
- 着地見込管理を強化し、原価管理の標準化・視認性向上と着地見込承認による発注漏れの防止や予算超過の早期把握等の統制強化を実現
- 工事台帳の機能を強化し、明細・工種・業者別の原価を統一ルールで手軽に確認できるようにし、建築・土木など各種工事の原価管理の精度を向上

■ 購買管理領域の機能強化

- 実行予算を修正せずに発注指示が可能となり、購買業務の効率化を実現
- 品目コード管理の拡充により、購買データ分析と原価低減を支援
- 相殺取引機能を強化し、立替・相殺の管理精度を向上

■ 物件管理・ユーザーインターフェースの強化

- 物件一括取込により、SFA や Excel から引合い情報を取り込めるようにし入力の負荷を削減
- React ベースの新ユーザーインターフェース(Biz J UI3)対応により、入力補完、添付ファイルプレビュー、明細フィルター、Excel ペーストなど、入力効率と利便性を向上

【今後について】

NTTデータビジネスシステムズおよびNTTデータ・ビズインテグラルは、建設業における原価管理の高度化と経営管理基盤の強化に向け、ユーザーの意見を反映しながら「imforce Arch」の機能拡充を継続します。今後も建設業界の制度改正や基盤刷新のニーズに対応できる柔軟なシステム環境を提供し、お客様の経営判断の迅速化と生産性向上に貢献していきます。

【NTTデータビジネスシステムズについて】

NTTデータビジネスシステムズは、NTTデータグループの法人分野の中核企業として、アプリケーション開発やシステムインテグレーション事業、NTTデータの法人・テレコム分野におけるミッションクリティカルなシステム開発・運用を担い、幅広い業種・業界のビジネス課題の解決に取り組んできました。これまでの豊富な導入実績と業務ノウハウを活かし、ビジネスブランド「imforce」を通じて、お客様や社会へ新たな価値を提供していきます。

【NTTデータ・ビズインテグラルについて】

NTTデータ・ビズインテグラルは、2009年に国内の有力なパッケージベンダーの出資により設立し、ERP パッケージ Biz J (ビズインテグラル)の開発、販売、および各種サービスの提供を行っています。様々な業種・業界に知見を持つ、約60社のパートナー企業と共に、お客様にあったシステムを追求。これからもお客様のビジネス価値向上に寄与できるよう取り組み、多様性のある豊かな社会の実現に貢献します。

株式会社NTTデータ・ビズインテグラルの詳細は <https://corp.biz-integral.com/> をご覧ください。

参考

・<https://www.nttdata-bizsys.co.jp/solution-service/business-suite/construction/>

imforce 建設業統合基幹モデル「imforce Arch」 | 株式会社NTTデータビジネスシステムズ (nttdata-bizsys.co.jp)

※「imforce Arch」は、株式会社NTTデータビジネスシステムズの登録商標です。

※「Biz J」は、株式会社NTTデータおよび株式会社NTTデータ・ビズインテグラルの登録商標です。

※その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

※本リリースに記載されている内容は予告無く変更することがあります。

【本件に関するお問い合わせ先】

<p>■ 報道関係のお問い合わせ先</p> <p>株式会社NTTデータビジネスシステムズ 経営企画本部 総務部 小嶋 佳子 news_release_bizsys@hml.nttdata-bizsys.co.jp</p> <p>株式会社NTTデータ・ビズインテグラル セールス&マーケティング部 contact@biz-integral.com</p>	<p>■ 製品・サービスに関するお問い合わせ先</p> <p>株式会社NTTデータビジネスシステムズ デジタルエンタープライズ事業部 小室 俊 赤木 趣宇 imforce_pr@hml.nttdata-bizsys.co.jp</p> <p>株式会社NTTデータ・ビズインテグラル セールス&マーケティング部 contact@biz-integral.com</p>
--	--